

小学校の学級集団への位階利用型社会的スキル訓練の効果に関する研究

著者	多賀谷 智子
学位名	博士（人間文化学）
学位授与機関	神戸学院大学
学位授与年度	2014年度
学位授与番号	34509乙第64号
URL	http://doi.org/10.32129/00000046



学位(論文博士)論文審査及び学力の確認報告書

2015 年 2 月 5 日

人間文化学研究科長

寺 嶋 秀 明 様

学位論文審査委員会

審査委員長 吉野 絹子

審査委員 小石 寛文

審査委員 今西 幸蔵

審査委員 小山 正

審査委員 伊藤 崇達



本学学位規則第 8 条第 2 項の規程により、論文審査の要旨、学力の成績及び
学位の授与に関し下記のとおり報告いたします。

記

学位申請者	多賀谷 智子
論文題目	小学校の学級集団への機会利用型社会的スキル訓練の効果に関する研究

論文審査の要旨及び学力の成績

本研究はまず第 1 章でいくつかの先行研究から社会的スキルの定義を示し、そのうえで学級への適応という視点から社会的スキルを捉えている。さらに社会的スキル訓練（以下、SST）の研究を概観して、SST が主に研究者によって、決められた時間の中で実施されているものが多いことを指摘し、本研究では担任教師が日常の教育実践の中で実施できるような機会利用型 SST という方法を用いてその効果を検討することを目的としている。

研究Ⅰでは、特別支援学級に在籍している子どもを対象にして、機会利用型 SST を実施し、その効果を確認した。研究Ⅱでは、小学 4 年生の学級の全員を対象にして、あらかじめ決めておいた目標スキルをコーチング法にもとづいて機会利用型 SST を実施した。その結果、訓練群において社会的スキルの維持のほか、仲間への認知が肯定的に変化するなどの効果が得られた。研究Ⅲでは、学級全員を対象にしながら、特定の子どもへの対応も並行して機会利用型 SST を実施した。研究Ⅳでは、あらかじめ教師から必要な社会的スキルを聞き、それを参考にして「上手な聞き方」を目標スキルにして、小学 3 年生から 6 年生を対象にして SST を実施した。その結果、4、5、6 年生でストレス低減の効果がみられた。研究Ⅴでは、小学 4、5 年生を対象に半年間の機会利用型 SST を実施した。その途中で、効果の出ない子どもに対しては担任が介入をすることで向上がみられた。研究Ⅵでは、小学 4、5 年生を対象にして、10 か月間、毎月 1 つずつの目標スキルを設定して、セルフモニタリング手続きを併用した訓練を実施した。どの目標スキルも得点が上昇し、さらに翌年の 4 月まで維持された。この訓練で、社会的スキル低群の子どもたちは、向社会的行動が増加するなどの結果を得た。研究Ⅶでは、教師が重要と考えるコミュニケーションスキルに特化して目標スキルを設定し、小学 5 年生を対象にして実施した。とくによい行動がみられたときには学級全体にフィードバックしたりモデリングを促したりする機会利用型 SST の効果をみた。介入した群では仲間の意見を聞いた直後に適切な行動ができたり、仲間への好意感、仲間からの承認感、社会的スキルについての自己評価が向上した。

本研究では、第 1 章において、学習理論にもとづいた SST についての先行研究を丹念に検討している。これまでに用いられてきた SST は、日常の授業とは独立した形で実施されるものが多く、実際に教師が日ごろの教育実践の中で用いることは困難であることから、本研究は、学級担任が日常の学習指導場面において自然に社会的スキル訓練を実施できるような方法を考えて研究したことに特色があるといえる。さらに、日常の教育の中で行われることで、長い期間かけて実施しその効果をみていること、そしてその効果が、他の社会的行動により影響をもたらすという般化の可能性についても示唆している。これらのことを明らかにするために教育現場という大変実験条件の統制の難しい中で、貴重なデータを得ていること、そして研究と教育実践とをつなぐ研究として注目される。

以上のように本論文は、SST を新しい視点から実施しその効果を確認したこと、教育心理学的研究と教育実践とをつなぐという貴重な研究であり、博士 (人間文化学) の学位を授与するに相応しいものと認める。

2015年1月14日

人間文化学研究科

学位論文審査委員会 殿

人間文化学研究科長

寺 嶋 秀 明

下記の者から提出された学位(論文博士)論文の審査及び学力の確認を行い、
結果を報告してください。

記

学位申請者	多賀谷 智子	<p>[論文題目]</p> <p>小学校の学級集団への機会利用型社会的スキル訓練の 効果に関する研究</p>
-------	--------	--

判 定

上記学位申請者の審査結果を報告します。

論文審査 〈合または否〉	合	学力の確認 〈合または否〉	合
-----------------	---	------------------	---

2015年2月5日

学位論文審査委員会

審査委員長 吉野 絹子



審査委員 小石 寛文



審査委員 今西 幸蔵



審査委員 小山 正



審査委員 伊藤 崇達

